

北九州市立医療センター

研修医 小市 裕太 2018年3月

初期臨床研修医2年目の小市裕太と申します。私事で恐縮ですが、平成30年4月からは旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科学分野での勤務となります。鹿児島と北海道では距離的には遠いですが、もしかしたら、一緒に仕事や勉強をする機会があるかもしれません。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

さて、地域医療を学ぶために野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センター、出水総合医療センターにおいて研修を行いましたので、以下簡潔に感想を述べます。

野田診療所では、内村先生のご指導の下、主に外来見学と画像検査（経胸壁心エコー、腹部エコー、上部消化管内視鏡検査）を行いました。特に印象に残ったのは、内村先生と患者さんとの信頼関係の深さでした。また、臓器別の専門家としての枠を越えて、新たな診療技術を取得し、それを実践しようと挑戦する姿勢に感銘を受けました。

高尾野診療所では、外来を行う機会を頂きました。西元寺先生のご厚意に感謝申し上げます。臨床において各疾病へ対応するだけでは不十分であり、患者さんの家庭環境・職場環境などを踏まえた全人的な医療を提供することの重要性について改めて考えさせられました。また、訪問診療に長谷川先生とご一緒させて頂き、患者さんのご自宅での長期療養の現場を経験しました。

上場診療所では上場地域住民の健康を守るという市立病院としての「公共性」を、出水保健センターでは母親を家庭で孤立させずにフォローする地域の取組みを知ることができました。

出水総合医療センターでは、腎臓内科の吉嶺先生の下で研修を行いました。吉嶺先生におかれましては、日常業務で多忙な中で院内研修を引き受けて頂き、心より感謝申し上げます。最も印象的だったのは、血行動態が安定している患者さんに対する短時間でのダイナミックなボリュームコントロールでした。今回の腎臓内科での経験を将来の診療に生かしたいです。また、多職種連携として、医療安全管理室、看護部、地域医療連携室、薬剤科、リハビリテーション技術科、臨床検査科、臨床工学科の職員の方々には大変お世話になりました。

地域医療のプログラムとは別に、勉強会（二木会、三水会）への参加を通して院外の先生方と交流する機会にも恵まれました。

研修を通じてお世話になった全ての方々に御礼申し上げます。

最後に、地域医療研修の全体を統括された臨床教育研修センター一長の宗清先生には、この場を借りて重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。